



NPO法人いすみライフスタイル研究所が発行する、いすみライフを応援する不定期刊行のニュースレターです。WEBサイト「isumi-style.com」より抜粋してお届けします。

いすみの魅力

「自然と共生する里づくりシンポジウム」～人もコウノトリも住める地域づくりを目指して～

2月2日(土)に岬公民館で、「自然と共生する里づくりシンポジウム」が開催されました。

稲作を中心に農漁業の盛んないすみ市の今後を大きく左右するテーマです。現在いすみ市には希少な源氏ボタル、コハクチョウやミヤコタナゴ、オオサンショウウオなどを始め様々な生物が人と共生しています。しかし今後、自然環境に負担の少ない農業へ見直していかなければ、いずれいなくなってしまうでしょう。

いすみ市の現状を踏まえて、兵庫県豊岡市の中貝市長が基調講演。コウノトリを地域づくりに取り入れている市長のお話は実績もあり、とても熱意が感じられました。

豊岡市ではコウノトリが絶滅して約40年、困難といわれたコウノトリの繁殖、そして放鳥を成し遂げました。それは「コウノトリも住める環境＝人間にとっても持続可能で健康的に暮らせる環境」という信念があったから。

現在では環境創造型農業、コウノトリツーリズム、市と企業との連携して自然も経済も循環する仕組みができつつあります。



いすみ市ではどう取り組んでいくのか？太田市長がコウノトリに対する熱い思いを語り、「いすみ市の環境をより豊かなものにして、次世代の子供達に引き継ぐためにも、コウノトリをシンボルとした環境と経済の自立を推進し、いすみ市の大地で生産された安全なものを食べてみたい、行ってみたい、住んでみたい、そういういすみ市になれるよう、今後取り組んでいきたい」と希望をのべました。



また、JAいすみの組合長も「農協も真剣に取り組むべき問題」と、閉会の言葉の中で述べていました。

実際、いろいろな課題はありますが、いすみ市がコウノトリも含め、人にも環境にも配慮した農業にシフトしていかなければ「TPPを始め、農家の高齢化の問題、農業が続けられなくなっていくのを避けられない」というのは太田市長も危惧する通りです。

これから、市内の農家、JAを始め、市民と行政の密な話し合いを続け、具体的にどのように形にしていくのか楽しみに感じられるシンポジウムでした。

自分生活 @ いすみ

「いすみ癒し隊」ママさん

今回は、当NPOのイベントとしてお馴染みの「プチ癒しフェスタ」のコアメンバー4人のママさんたちに話を聞きました。「いすみライフマーケット in ちまち」にも出店され、当NPOの事務所にて毎月ワークショップも行っていらっしゃいます。

◆「Angel*Garden」矢野智子さん

矢野さんは、ハードパステルという画材を使って、小さなお子様からお年寄りの方まで誰でも簡単に描けるパステルアートをされています。絵心がなくても、ご本人が驚くほどの作品が出来上がります。自分と向き合うことで癒され、本来持っている優しさや明るさ、前向きな自分を取り戻すことが出来るそうです。

◆「きせきのかげら」北奥由香さん

北奥さんは、TCカラーセラピーというものをされています。14本のカラーボトルの色を使って、今の自分の悩みや本質についての答えを、潜在意識(自分の奥にある意識)に聞くセラピーだそうです。生まれも育ちもいすみの北奥さん、みんなで楽しめる、笑顔でつながる「いすみ」になったらと思っているそうです。

◆「あくあえんじえる」中村清美さん

中村さんは、潜在意識を癒すヒーリングをされています。タロットカード・リーディングやヒプノセラピー(インナーチャイルド、パーストラウマ、過去世からの心の傷を癒す)など、心理学を応用し心と

体のバランスを取りながら精神を整えます。北海道出身の中村さん、いすみには磨けば光る人や物がたくさんあるのだそうです。

◆「ブルー・ウイング」田辺紀子さん

田辺さんは、カラーセラピー(色彩心理学)、TCカラーセラピー、カラーヒーリング、エネルギーヒーリング、カード(エンジェルカード、タロットカード)リーディングなど、たくさんの方が出来るヒーラーさんです。田んぼを大事にし、海外と交流すると地域の力が上がるのでは、とおっしゃいます。

それぞれが、ご自身の体験と学びから「癒しの伝道師」のようなことをされている皆さんですが、「いすみ」の人たちを癒すことができたなら、「いすみ癒し隊」というグループを作り、子育ての合間をぬって活動をされています。イベントなどで、見かけたら、気軽に声をかけてみてはいかがでしょうか。



左が矢野さん、右が北奥さん



左が中村さん、右が田辺さん

海外からお客様が来ました(JICA研修受け入れ)

アフガニスタン、ブータン、インドネシア、ラオス、シリアレオネ、南アフリカ、スリランカ、バヌアツより12名が、数週間の研修に来日。国家公務員、地方公務員、NGOスタッフなど様々な立場の方が、研修プログラムのひとつ、「住民主体のコミュニティ開発」をテーマに、いすみ市にいらっしゃいました。いすみ市が選ばれたのは、市民提案事業や市の情報発信委託事業とその受け皿としての当NPOの活動を評価してのことだそうです。

1日目は、まず午前中、太東崎灯台や農産物直売所「土楽の里」、行元寺を見学。お昼には、きやらぶき普及会のみなさんと一緒に太巻き寿司づくりを行い、お母さんたちの手づくり料理と一緒に頂きました。

午後からは、いすみ市の情報発信事業といすみライフスタイル研究所の活動を説明。その後、研修団、いすみ市内在住の方、当NPOメンバーを交え意見交換会をしました。

中でも印象的だったのは、「いすみ市の方は、自分たちの街が田舎だと言うけれど、私たちの国から見れば、道路も舗装され、電気もガスも水道もあり都会だ」と、多くの研修員が述べたこと。日本の都会と比べて「ない」ものばかりを見てしまいますが、いろんなものが「ある」街だということを改めて気づかされました。

1日目最後は、「和太鼓 風」の練習を見学。実際に和太鼓も叩かせていただきました。

2日目は、「あるもの探し」と題し、研修員の皆さんはいすみ市内を3つのグループ(岬・大原・夷隅)に分かれてフィールドワークをしました。午前中、現地を歩き、午後からグループごとにまとめの作業。そして、夕方、いすみ市民も交えて発表会をしました。

最初は硬かった研修員たちの表情も、2日目の最後になると、かなり和らぎ、私たちとの距離感もかなり近くなった感じがしました。また、私たちもたくさんの気づきをいただいた2日間でした。



2日目「あるもの探し」フィールドワーク 大原チーム



2日目「あるもの探し」フィールドワーク 夷隅チーム



2日目「あるもの探し」フィールドワーク 岬チーム



房総★スターマーケット vol.4



房総の素材をいかして活躍するつくり手たちが集うマーケット「第4回房総スターマーケット」が、大多喜町のハーブアイランド/ベジタブルガーデンにて、3月20日(水・祝)に開催されました。楽しくて、おいしくて、笑顔になる53店舗が出店。オーガニックフード、天然酵母パン、スイーツ、雑貨など、こだわりの商品を提供しました。いすみライフスタイル研究所は、いすみ市に関する情報提供の他、ホーロー商品なども販売。また、実行委員として、事前の告知や当日運営スタッフとして参加しました。1,450名ものお客様が来場し大盛況でした。第5回の開催は11月4日(月・祝)を予定しています。

古民家ライフ見学ツアー



今回で第4回目を迎える人気のツアーを3月23日に開催。18名の参加者と共に2軒の古民家ライフを満喫するお宅を訪問。リフォームの仕方や実際の暮らしぶりについての質問があり、参加者の関心の高さを感じました。最後はいすみ鉄道に乗り、車窓からいすみの景色を楽しんで頂きました。

いすみライフマーケット in ちまちま&つるし雛展示



3月3日千町保育所跡地にて開催しました。20店舗以上の出店の他、童謡ロックライブ、謎解き、種の交換会も行われました。桃の節句にちなみ、いすみ市商工会女性部の方にたくさんの方のつるし雛をお借りし、保育所が華やかに彩られ多くの人でにぎわいました。

よむよむ in ちまちま



「子育て中を楽しむ」イベント「わくわく」さん企画の第2回目となる「ちまちま・よむよむ」が2月17日行われました。絵本の読み聞かせや子ども参加型の劇、工作、アンパンマンパンの販売など、子ども達が楽しめるイベントとなりました。毎回満員となる人気ぶりでした。

ものづくり・手しごととライフ体感ツアー



いすみでもものづくりをしている人にレクチャーを受け実際に体験してみるツアーを2月23日・24日で行いました。いすみ環境と文化のさとセンターでのほうきづくりや市民の方による消しゴムハンコ、シーグラスを使ったフォトフレームづくりを楽しんでいただきました。

手前味噌づくりワークショップ



昨年も好評だった手前味噌づくり、今年も2月28日にみさき味工房で開催しました。いすみで採れた大豆を煮て潰すところから参加していただきました。参加者は16名。できた味噌が美味しいと、昨年に引き続き参加の方も何名かいらっしゃいました。自分でつくるお味噌は安心で味も格別ですね。

手前納豆づくりワークショップ



毎回好評のいすみ市で住と食の自給自足生活と自然農業(今昔農法)を営んでいるR工房さんとのコラボイベント。家庭で納豆を作り続けて欲しいという思いから、R工房で育てた薬と小黑大豆を使って納豆を作るワークショップを3月7日に開催しました。

謎解き&婚活「謎コン」 in ちまちま



12月に開催したいすみ謎解き企画「千町保育所隠された宝物を探せ」を3月3日、大好評につき再演いたしました。今回は婚活イベントとしても同時開催。あちこちに隠された謎を見つけながら解き進めていく仕掛けで子供から大人までみなさん真剣に挑んでいました。

ふさふさ本舗ライブ in ちまちま



「あめふりくまのこ」、「ドナドナ」、「しあわせなら手をたたこう」など、おなじみのこどもの歌が、地元バンド「ふさふさ本舗」によって、のりりの「ロック」になって登場しました。3月3日いすみライフマーケット in ちまちま内で行われたライブでは親子連れでにぎわいました。

種の交換会



3月3日いすみライフマーケットinちまち内で開催しました。自家採取の種を持ち寄り交換するのが目的の会。今回も盛況でした。今回は土作りを研究している埼玉の小峰和昭さんの講演と意見交換会も設け、みなさんそれぞれ野菜栽培に関する情報交換をしながら交流を深めました。

いすみ癒し隊ママさんイベント



いすみ癒し隊ママさん達企画で2月4日「お宝マップづくり」、3月15日「数秘とパステルアート体験」ワークショップを開催しました。参加者は、自分自身と向き合い内なる自己に目覚める素敵な時間を、毎回アットホームな雰囲気の中で過ごされていました。今後もイベント企画があるので楽しみに。

NPO法人いすみライフスタイル研究所の活動(情報発信・広報活動)

NHK千葉放送局より感謝状、ドラマPR協力へ



この1年取材や情報提供など協力者への感謝状を、NHK千葉放送局より、当NPOがいただきました。また、この10月にはいすみを舞台にした千葉発地域ドラマ「菜の花ラインに乗りかえて」の放送が予定され、その応援団を引き受けます。いすみ地域をもっともっとPRしていきます。

いすみ市観光協会PV作成



当NPO副理事長で映像作家の高木繁昌が、いすみ市観光協会のプロモーションビデオを撮影・製作しました。アップルコンピュータの元CEO故スティーブ・ジョブスの名物プレゼンテーションをパロディ化し、TTP(天然テーマパーク)「いすみランド」を楽しく紹介しています。

大洗町いすみ視察受入



2月27日、茨城県大洗町から、視察にいらっしゃいました。「いすみ市は移住定住への取り組みでは、全国的に見ても活動が盛んですね」とお褒めをいただき、市と当NPOが協調してどのように活動をしているのか、熱心に取材されていました。

四街道市いすみ視察受入



四街道市『発見！四街道の「いいね！」四街道の魅力を考える 3days』。2月12日は、現地視察ということで、大型バスで約40名の方がいらっしゃいました。千町保育所跡地見学、「きゃらぶき普及会」の皆さんによる手づくり料理や太田市長の挨拶など盛り沢山の視察となりました。

四街道市よつグルメ研究会講師



3月14日に、「ご当地グルメ」づくりでも頑張っている四街道市より、グルメ研究会「デザイン・ロゴ・パッケージ」勉強会講師にお招きいただきました。ガレットや「鹿放パン」などのご当地グルメのパッケージ開発について、お話をさせていただきました。

isumi-style.com



当NPOが2010年8月より運営するWEBサイトです。「いすみ暮らし」を楽しくする情報を満載、毎日700人近くの人に見てもらっています。また、いすみのイベント情報をご紹介します。メールマガジン「isumi-style通信」(270人以上の登録)も購読申込受付中。



編集・発行 NPO法人いすみライフスタイル研究所

〒299-4692 千葉県いすみ市 岬町長者549 (いすみ市役所岬庁舎内)

J R外房線長者町駅下車徒歩10分

平日・土曜日 9時～17時まで Tel 0470-62-6730 Fax 0470-62-6731

Website <http://www.isumi-style.com>

E-mail isumi-style@bz03.plala.or.jp

2013年3月 第7号 不定期発行 発行責任者 君塚正芳

メールマガジン「isumi-style通信」は、携帯からも購読できます。

QRコードからアクセスして、お申し込みください。



【会員募集中】

当NPOでは、持続可能な地域づくりに向けて、一緒に活動する、又応援してくれる会員(正会員・賛助会員・サポーター会員)を募集しています。

詳しくはサイトをご覧ください。NPO事務所にお問い合わせください。